



柏葉



学校だより 第14号
 令和5年7月14日(金)
 福島県白河市立東北中学校
 発行責任者 校長 渡邊泰昌
 「自分の未来を切り拓け！」

白河市青少年健全育成推進大会「少年の主張」



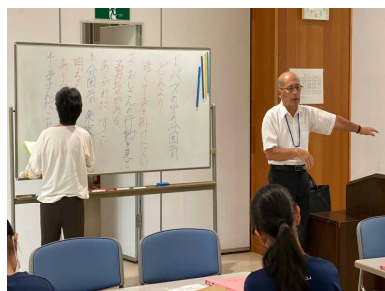
堂々と発表した和知翔夢さん



表彰を受けている様子

7月10日(月)に令和5年度「白河市青少年健全育成推進大会」の中でそれぞれの学校から代表1名が自分の考えを自由に述べる「少年の主張」がありました。本校からは和知翔夢さん(3年生)が学校代表として出場しました。和知さんは、将来の夢について原稿を見ずに心のこもった言葉で発表しました。自分の夢を周囲の人に伝えることはとても素敵なことです。自分の意見を堂々と言えることで周囲の人たちも応援したくなります。和知さんの発表はまさにその応援したくなるすばらしい発表でした。ここまで立派に発表するためにたくさんの練習をしたことと思います。その努力にも拍手を送りたいと思います。

「人権」について考えました



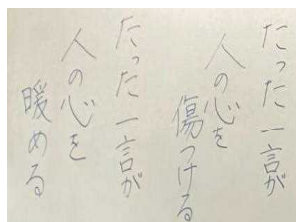
人権教室(1年生)



人権作文を書いているところ



人権について話し合い



人権教室で使った言葉

たった一言が
人の心を
傷つける

たった一言が
人の心を
暖める

7月11日(火)に白河市の人権擁護委員である佐藤正弘様、大橋信子様が来校し、1年生に人権についての授業を行いました。1年生の皆さんは真剣に話を聞き、真剣に自分の意見を発表していました。最近、「人権」という言葉をよく聞くようになりました。ロシアによるウクライナ侵攻によって罪のない市民が攻撃を受けたり、身近な所では、SNSによる誹謗中傷やLGBTQなど、これから私たちが生きていく中で、大切な言葉になると思います。総合的な学習の時間を使って、人権についての作文を書きました。タブレットを使って人権について調べたり、学級の中で話し合いをしながら書く様子が見られました。

右に全国中学生人権作文コンテスト中央大会の審査員長である落合恵子さん(作家)の言葉を掲載します。

人権とは
誰の足も踏まないこと
同時に
人権とは
誰にも自分の足を踏ませないこと

